

## 2016年3月映画興行部門興行成績速報

3月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

### 東宝グループ館総合計

**661 スクリーン**                      **興行収入**                      **5,160,199,360 円**                      **(前年比 108.2%)**

### 3月主要稼働作品

『映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生』『マネー・ショート 華麗なる大逆転』『アーロと少年』『エヴェレスト 神々の山嶺』『暗殺教室～卒業編～』『リリーのすべて』『ちはやふる -上の句-』『劇場版しまじろうのわお!「しまじろうと えほんのくに」』『僕だけがいない街』『バットマン vs スーパーマン ジャスティスの誕生』『家族はつらいよ』『ザ・ブリザード』『仮面ライダー1号』『セーラー服と機関銃 -卒業-』『映画プリキュアオールスターズ みんなで歌う♪奇跡の魔法!』『黒崎くんの言いなりになんてならない』『オデッセイ』『SHERLOCK/シャーロック 忌まわしき花嫁』『Born in the EXILE ～三代目 J Soul Brothers の奇跡～』『信長協奏曲(ノブナガコンツェルト)』『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』他

1月から3月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

### 東宝グループ館総合計

**興行収入**                      **14,689,411,720 円**                      **(前年比 113.6%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社  
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。